

大会名 Competition	第68回 秋田県民体育大会バスケットボール競技 兼第72回「愛顔（えがお）つなぐえひめ国体」秋田県代表スタッフ・選手選考会
女子決勝	Year Month Day Time 2017 年 7 月 2 日 11 : 00
場所 Place	横手市増田体育館



秋田県バスケットボール協会

チームA		チームB
湯沢翔北高A	(24 1st 16 20 2nd 31 27 3rd 11 13 4th 12 OT)	秋田中央高
84 ○		70 ●

主審:Referee
藤原 義隆 秋田
副審:Umpire
千葉 俊彦 秋田
石垣 千彩 秋田
テーブルオフィシャル:Table officials
横手市協会

No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F	No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F
4	×	佐々木 留夏	CAP	21	2	6	3	1	4	×	嵯峨 ももこ	CAP	1	0	0	1	3
5	×	高橋 悠佳		14	0	7	0	4	5		吉田 史歩		-	-	-	-	0
6	×	村上 瑠奈		15	3	3	0	2	6		草 彌 琳 瑛		-	-	-	-	0
7	/	佐藤 綾乃		6	0	3	0	2	7	×	岸 聡子		40	3	11	9	1
8		高山 美瑠		-	-	-	-	0	8	×	佐々木 菜摘		21	0	9	3	2
9	×	安藤 千遙		5	0	2	1	0	9	×	菅 原 舞		5	1	1	0	4
10		横山 萌華		-	-	-	-	0	10	/	川村 莉理佳		0	0	0	0	1
11	/	目黒 歩子		14	1	4	3	1	11		栗谷 南美羽		-	-	-	-	0
12		浅利 千		-	-	-	-	0	12		半田 結衣		-	-	-	-	0
13	/	近藤 萌		7	1	2	0	2	13		小野 鈴奈		-	-	-	-	0
14		齊藤 可怜		-	-	-	-	0	14		門間 結美		-	-	-	-	0
15	×	長谷川 美加		2	0	0	2	3	15		富岡 榛奈		-	-	-	-	0
16		加藤 望希		-	-	-	-	0	16		浅倉 好花		-	-	-	-	0
17		小野寺 紅美		-	-	-	-	0	17	/	坂谷 晴日		0	0	0	0	1
18		佐渡 ほのか		-	-	-	-	0	18	×	佐々木 琴子		3	1	0	0	0
				-	-	-	-	0	19		中田 結梨佳		-	-	-	-	0
				-	-	-	-	0	20		鈴木 綺乃		-	-	-	-	0
				-	-	-	-	0	21		三浦 舞羽		-	-	-	-	0
コーチ		樋渡 真							コーチ		門間 義範						
Aコーチ		熊谷 傳裕							Aコーチ		幕沢 美穂						
合計				84	7	27	9	15	合計				70	5	21	13	12

※×:スター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3Pポイントシュート 2P:2Pポイントシュート FT:フリースロー F:ファウル

第1ピリオド:両チーム共にマンツーマンディフェンスでスタート。秋田中央#8佐々木がファールを貰い、フリースローから先制する。果敢にドライブでシュートを狙う秋田中央に対し、湯沢翔北は、#4佐々木のミドルシュート、#11目黒の3PTSで応戦する。秋田中央は、#7岸のドライブを中心に得点を重ねるも、湯沢翔北は#6村上、#11目黒のミドルシュートを軸とした攻撃で秋田中央を突き放しにかかる。24対16で湯沢翔北のリードで終了。

第2ピリオド:秋田中央は、#7岸のドライブからのバスケットカウント、#8佐々木のゴール下からのシュートで追いつける。湯沢翔北は、タイトなディフェンスからチャンスを掴もうとするが、秋田中央#7岸、#8佐々木を止めることができず、ファールがかさんでしまう。流れをつかみたい湯沢翔北は、#4佐々木の3PTSで応戦するも、秋田中央#6草彌の3PTSで逆転を許してしまう。秋田中央は、#8佐々木のドライブ、#7岸のゴール下シュートで突き放しにかかる。一方の湯沢翔北も、#6村上の3PTSで同点とするも、すかさず秋田中央#7岸が3PTSを決め、追従を許さない。秋田中央ペースで試合が進み、47対44で秋田中央リードで前半を終了。

第3ピリオド:後半開始早々、湯沢翔北#4佐々木のドライブでスタートする。逆転したい湯沢翔北は、タイトなディフェンスから相手のミスを狙い、#6村上の3PTS、#7佐藤のドライブの連続得点で、逆転に成功する。追いつかれた秋田中央は#7岸のゴール下からのシュートで応戦するが、湯沢翔北は、#4佐々木のミドルシュート、バスケットカウントの連続得点で突き放しにかかる。流れを引き戻したい秋田中央は、#7岸、#8佐々木のゴール下シュートで追いつけるも、湯沢翔北は、#6村上の3PTS、#13近藤の連続得点で追従を許さない。71対58で湯沢翔北リードで終了。

第4ピリオド:追いつきたい秋田中央は、#9菅原のドライブからのシュートで得点するも、ミスが目立ち、なかなか自分たちのペースに持ち込めない。逆に湯沢翔北は、#11目黒、#9安藤の得点で突き放しにかかる。ペースを掴みたい秋田中央は、#7岸、#8佐々木が奮起するも、湯沢翔北は、#9安藤の連続得点で突き放しにかかり、後半から安定した試合運びを見せた湯沢翔北が、84対70で勝利し、3年連続15回目の優勝を飾った。